

みんなの鳥獣対策

鈴木好道さんは苅宿地区で約24aの農地で奥さんと二人で農作物を栽培しています。避難指示解除後に帰還してから、花卉栽培を続けてきましたが、昨年はタマネギやジャガイモ、アスパラガスなどの栽培にも取り組み、今後販売につなげていく予定です。



鈴木 好道 さん

1人でも鳥獣対策が続けられる畑に

動物も野菜の好き嫌いがあり、すべての作物が同じように被害を受けるわけではありません。そこで、栽培する農作物が、特にどの動物に狙われやすいか分析し、その動物に特化した対策を区画ごとに実施しています。

畑全面に柵を設置すれば、大きな動物が入ることは少なくなるかもしれませんが、その分設置やメンテナンスが大変になってしまうので、身の丈に合ったやり方でしっかり守っていきたいと考えています。

鈴木流、作物に応じた鳥獣対策！ ピンポイント対策の効率的な実践



鈴木さんの畑

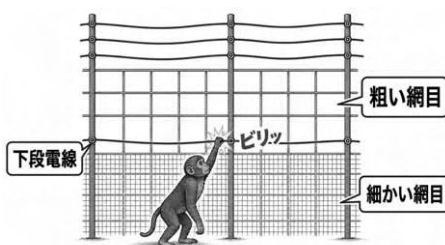


サルに狙われる作物は、柵の中で栽培

ポイント

1 被害を受ける作物をしっかり守る

これは当然ですが、過去にサル被害があった作物はまとめて複合柵（ワイヤーメッシュ柵+電気柵）で囲いました。さらに、電気柵は下段にも設置し、子サルがメッシュの網目の粗い部分からも入らないように徹底して守ります。



通常の柵よりも地面に近い位置に電線を張ることで、除草管理は入念に行い、漏電しないよう注意が必要です。



被害を受けにくい作物は、柵の外で栽培

ポイント

2

あえて柵を張らない区画を作る

一方で、サルの被害が確認されていない農作物については、あえて柵を設置せず、必要最小限の対策でしっかり効果が出るように工夫しています。

ポイント

3

ネズミ退治もピンポイントで



路地ではネズミ以外に殺鼠剤を取られないよう配慮します。



ビニールハウス内の散布

暖かいハウス内の作物や、地中で育つジャガイモのような作物はネズミにかじられることがあります。そこで、ジャガイモの区画やハウス内だけ、殺鼠剤を散布しています。ジャガイモは畝のすぐ横に塩ビパイプを軽く埋め込んでその中に殺鼠剤を散布し、ハウス内は端にお皿を配置し散布しています。



けもの掲示版

鳥獣被害の
ご相談は
こちらから



連絡用フォーム



ホームページは
こちら

※事前に申請する必要があります。

ください。

■申請方法

窓口または郵送で申請して

ください。

①免許取得／更新に係る費用

(上限1万円)

②狩猟の技能向上に係る費用

(上限1万5千円)

■対象者 浪江町民

■補助内容

新たに狩猟免許を取得する

人および現在免許を保有して

いる人に対し、狩猟に要する

経費の一部に補助金を交付し

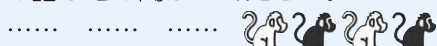
ます。

狩猟免許取得補助金



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246



農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与 (出荷を目的とした農地に限る)

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ
でもご覧いただ
けます

